

ふれあい

発行 / 鹿嶋市立豊津小学校 PTA
編集 / 広報委員会

第 78 号



豊かな自然を

生かして



学校長

石崎とも子

「鹿島の宮の鳥居河岸 神宮橋を長くひく」と校歌にあるように、古い歴史をもつ伝統のある豊津小学校に勤務させてもらうことになりました。北浦に象徴されるように豊かな自然環境に恵まれ、子ども達も伸び伸びと育っている様子がうかがえます。近隣には、歩いていける・自転車で行ける場所にいるような学習のできる環境が広がっています。家庭には、所狭しと「ピオトープ」や子ども達の手にする名札のかかった様々な木々が育ち、栽培園やプランターを利用しての学習が進められています。子ども達は、「アサザ」の花がいつぱいに咲く北浦を夢みています。教室では、水槽に金魚や鮎やおたまじやくしなどが飼われ、理科の観察用の植物や小動物・昆虫も育ち、狭いながらも生きた子ども達の学習の園です。

本校の目標は、「豊かな心をもち、かしこくたくましい実践力のある子どもを育てる」ですが、学校では、知・徳・体の「進んで学び考える子」（発表示る子）、「思いやりのある子」（あいさつする子）、「じょうぶでたくましい子」（最後までやりぬく子）を目標として、子ども達が楽しく学校生活を送れると共に基礎基本を確実に身に付けるよう取り組んでいるところです。

子ども達一人一人がクラスの中で、人数の少ない分、自分の存在の大きさを感じながら、たくさん自分を表現し、お互いの発表をとおして大きく成長して欲しいと思います。

「陸上記録会」や「自転車コンテスト」などへの対外的な行事への参加には、特に全職員が協力しながらみんなで取り組んでいます。

実際に体験すること・経験すること・やってみることが子ども達にとって「実」になる学習であることから、各学年では、社会や理科や生活科などで様々な体験学習や校外学習やゲストティチャーを招いての学習に取り組んでいます。その際の、保護者の皆様のあたたかいご支援・ご協力に感謝いたします。

これからも、地域のみなさまやご家庭・保護者のみなさまのご協力をいただきながら、子ども達一人一人が生き生きと活動できるように、職員一丸となって努力していきますのでどうぞよろしくお願いいたします。